

教養如何で 善くも悪しくも

一昨日設立された 石城兒童研究會の趣意書

既報石城兒童研究會は昨日午後一時より平第二小學校作法堂にて發會式を擧げ先づ桐谷文平氏を座長に推して會則制定、役員選舉等を爲し今後の方針を附議して午後六時半散會したが先づ第一着手の仕事として來月五日全國一齊に行はるる乳幼児童愛護デーに際し愛護標語其他を印刷した宣傳ビラを配附する事となつた由因に同會の役員及び趣意書左記の如くである

△會長、元本縣社會課長 桐谷文平 △副會長、磐城中等學校長 唐土齊治、磐城高等女學校長 櫻井賢文 △理事、平第一小學校長 會我直治、平第二小學校長 原田兼治、夏井如來寺住職 鈴木積善、本社社長 川崎文治

趣意書

廿世紀は兒童の世紀である。『大人より小供へ』と云ふ標語は全世界を風靡して居る、兒童は塑像の材料の如きものでその教養如何に依つては善くも悪しくもなるものである。實にそれは『豫防の一オンスは治療の一ポンドに優る』からである、兒童の養育保護の如何は實に一家の興亡國家社會の消長に關する大問題である。けれ共、實際の現状はさうであらうか、乳兒の死

亡率は一七パーセントで世界文明國中の最大數字を示し、兒童の健康状態は年と共に低下し病弱兒は其の數を増し不良不年の跋扈は日を追ふて益々盛んになりつゝあるではないか、次に近時童話童話の流行はその爛熟期に入り兒童は美しき詩の國夢の國に遊ぶことが出来るやうになつた。けれ共それは都會中心であり就中中流以上の家庭の兒童のみその恩恵に浴するこゝが出来るに過ぎない、地方の小都市村落の兒童とは没交渉の有様である、無味乾燥な村落の兒童にこそ高尚な音楽、優美な童話、奥ゆかしき童話をより多く與ふべきではなからうか、

兒童を愛することは、兒童を理解することである。その眞の理解は研究によりて得らるべきである。即ち兒童そのもの、本質的研究、並に兒童保護、兒童教育等兒童に關する種々なる問題の研究は先づ考へられなければならない、本會の設立する、所以のものが實に此處に存する次第である

井戸澤橋開通 石城

郡田人村井戸澤橋は去る大正十四年八月災害復舊工事として古川縣議等の盡力で國縣の補助を受け昨年十二月竣工したが恰も諒闇に際し開橋式を延引してゐた處いよ／＼八日頃舉式する事になつた諒闇中とて裝飾餘興等を遠慮し來賓の招待に止める筈である

軍隊を見學

若松に向ふ

平町青年團幹部は知見を廣める一方相互の懇親を團る目的にて一泊の豫定で來る廿一日若松市に至り軍隊を見學し同地青年團視察の後飯盛山其他の名所を踏査すると

大工町踏切を 地下道に

經費約四萬圓

從前より懸案となつて居る平町大工町鐵道踏切は當局においてもその必要を認め過般水戸保線事務所から技術員來平し地下道開鑿の基本調査を行つた結果愈々本



手入れの色々

ネクタイを奇麗に。先づ白絲で中央を貫つ直に一寸位の針目で縎をかけ形の崩れぬやうにしておきます。

年度に着工することに略決定した、而してこれが經費は約四萬圓で實現の曉は同町鐵道以北との連絡交通の上にも多大の便宜を齎し平町發展の一助ともなるので大いに期待されてゐる

体を賣つて 稼ぎ歩く爲め

石城郡の壯丁

石城郡内各町村では本年度の徴兵検査が近づいて來たので、所在不明者その他の調査を急いでゐるが、縣内の他市郡に比して石城郡内は不明者が非常に多く毎年相當の數に上つてゐる、七年以上所在不明の者は八十七名、七年以内不明の者は十一名ある程だが、之は主に漁村に多く季節に依つて身體を賣り所々稼いで歩く漁夫や本籍地も解らない炭礦労働者があるためで所在不明のまま、四十歳に達し徴兵検査を免かれた不明者は

新刊紹介

▼滿洲之東北人(奉天彌生町八番地東北同郷會編纂)同會の石澤小七郎氏の手により編纂されたる著であつて異域に活躍しつつある東北人の消息が洩れなく登載されてゐる

▼通俗心經講話(東京市麻布區宮村町國民精神協會發行)渡邊小洋師の著にて日本全國の各家庭へ必らず一部宛備付せんと「心經一千萬部普及會」を設けて宣傳中、希望者はハガキで同會へ申込れませ

次に水一合にアルコール五六滴を入れ其の中に十分間浸しおきますアルコールの代用に大根汁を用ひても差支ありません。次に石鹼をさかした液にほう砂未半さじを入れて其中で水ゆすぎしてあごの當る所の赤くなつたものは酒石酸一さじに水一合の溶液を脱脂綿又は筆で塗り日光に乾かします。ぬれ靴を早く乾かす爲天日にさらしたり、火にあぶつたしては革が固くなつて早く傷みますそこで燕麥を靴の中へ一杯詰めて數時間おくと靴の形も悪くならず早く乾きます。燕麥はよく水分を吸収しふくらんで靴の形を整へるからです

江名町築港 第二期工事完成

第一期工事の分を併せ 三千八百七十坪の面積

本縣から七分の補助を得て船舶繋留場修築中にあつた石城郡江名町の第二期築港は工費十二萬一千六百五十五圓(うち縣費補助八萬四千圓交附)を以て大正十四年六月五日起工その

完成を 急ぎつゝあ

つた處豫定の昭和三年迄には一ケ年も早く竣工したのて縣から齊藤技師並に神谷技師が出張出來形の検査をなした處非常の好成績なの

其旨川淵知事に復命する處あつたがその工事坪數は一千八百五十四坪であるから先に完成した第一期工事の十八萬圓を投じて堀鑿した二千十六坪と

加算す

るときは港内面積三千八百七十坪の大ドック式な築港が完成した譯であり港内に抱留し得る船舶は三十噸級を優に三十餘隻然も安全に繋留し得る事となつた而して目下計

民有地細別

荒地を開拓

畫中にある大字中の作港の改修が實現するようにもならば縣下唯一の漁業地である江名町の前途や益々發展し斯業の隆盛を見るに至るであらうと縣からも期待されて居る

中佐の碑

自刃の跡に

南滿州獨立守備隊司令官水野少將は李官堡附近の戦跡を訪ね大越中佐の壯烈なる

幾分増加

貨車頗る順調

四月中の平驛貨物取扱數は財界混亂に續くモラトリアム等のため激減を豫想されてゐたが事實は荷物貨車共に頗る順調で昨年の同期に比し幾分増加の傾向さへ見えてゐる

小名濱町一名であると

藤田校前の

火を吹く電柱

漏電の爲めに

昨夜九時半頃平町田町藤田女學校前電柱より漏電の爲め盛んに火を發し場所柄の事として一時非常の騒ぎであつたが間もなく工夫隊駆け付け修理を施し事なきを得た

海軍志願採用 平町海軍志願兵は八名中二名合格したが採用されたのは左記一名である

久保町 柴田良雄